

## = 支部だより =

### 北海道支部

## 北海道支部活動報告

### 2008 年度春の講演会

2008 年度春の講演会が以下の要領で開催された。

日 時：2008 年 4 月 10 日（木）13：30～15：30

場 所：北大百年記念会館 大会議室

テーマ：「北海道の寒さを利用する」

講 演：

- ◆「寒冷地の気象資源，雪氷冷熱の利用—アイス  
シェルター技術の実際と今後の展望—」

浦野 慎一氏（北海道大学大学院農学研究院  
教授・NPO 北海道自然エネ  
ルギー研究会会長）

- ◆「北海道の低温を利用した寒締めハウレンソウ  
栽培」

濱寄 孝弘氏（北海道農業研究センター主任  
研究員）

参加者：60 名

### 2008 年度北海道支部総会

春の講演会に引き続き，同会場において 2008 年度の支部総会が開催された。

日 時：平成 20 年 4 月 10 日（木）15：40～16：10

場 所：北大百年記念会館 大会議室

出席者：31 名

議 事：

- 1) 2007 年度事業報告
- 2) 2007 年度収支決算報告
- 3) 2008 年度支部役員について
- 4) 2008 年度事業計画案
- 5) 2008 年度収支予算案
- 6) 北海道支部創立 50 周年記念事業委員会に  
ついて

### 審議

2007 年度の事業報告・収支決算報告・監査報告が異議無く承認された後，2008 年度支部役員の事務局案が示され異議無く承認された。山田支部長から 2008 年 4 月 4 日の理事会にて 2008 年度評

議員・顧問が選任されたことと幹事・幹事長の委嘱について報告がなされた。引き続き，新執行部より 2008 年度事業計画案・予算計画案が提案され異議無く原案通り承認された。

また，山田支部長から北海道支部創立 50 周年記念事業委員の候補が挙げられ，記念事業の準備を開始すること，今後必要に応じて委員を増員するとの説明があり，異議無く了承された。

### 2008 年度北海道支部研究発表会

2008 年度（社）日本雪氷学会北海道支部研究発表会が，以下の要領で開催された。121 名の参加者のもと，28 件の発表がおこなわれ，参加者も発表件数も昨年を上回り，内容も充実し盛会のうちに閉会した。発表内容についての論文は今秋発行予定の「北海道の雪氷」第 27 号に掲載される予定である。

日 時：平成 20 年 6 月 10 日（木）9：45～18：35

場 所：北大百年記念会館 大会議室

参加者：121 名

Session I

（建築物への積雪・着雪氷）：9：50～11：50

座長：川端伸一郎（北海道工業大学）

1. 送変電設備における塩雪害発生条件の一考察  
大浦久到，守護雅富，酒井 晃，木村直行  
（北海道電力（株））
2. 塩水を用いた湿潤着氷のブライン排水路の再現実験  
坂本拓麻（北海道教育大学大学院 札幌・岩見沢校），尾関俊浩（北海道教育大学札幌校）
3. 屋根の雪庇を防止する格子フェンスの効果  
川村文芳（（社）北海道開発技術センター），  
竹内政夫（NPO 法人雪氷ネットワーク）
4. 鉄道トンネル内のつららの観測（第 2 報）  
鈴木大樹，小川直人（JR 北海道），岩花 剛，  
赤川 敏（北海道大学大学院工学研究科）

5. 雪崩予防柵にできる雪庇と柵高  
竹内政夫 (NPO 法人雪氷ネットワーク),  
小林昭彦 (北海道開発局稚内開発建設部)
6. 新しい雪崩予防柵の提案  
金田安弘 ((社)北海道開発技術センター),  
竹内政夫 (NPO 法人雪氷ネットワーク)
7. 三角格子フェンスによる冠雪から成長する  
雪庇の発生抑止と落雪防止  
竹内政夫 (NPO 法人雪氷ネットワーク)
8. 振動による屋根雪の滑動と構造体との動的  
相互作用に関する基礎的研究 その 3 屋  
根雪におけるすべり面の違いが構造体の応  
答性状に及ぼす影響  
千葉隆弘, 苫米地司 (北海道工業大学),  
高橋 徹 (千葉大学大学院工学研究科)

## Session II

(雪氷寒冷圏の環境科学): 13:00~14:15

座長: 澤柿教伸 (北海道大学)

9. 熱水ドリル掘削システムの構築  
津滝 俊 (北海道大学大学院環境科学院),  
杉山 慎 (北海道大学低温科学研究所)
10. スイスアルプス・ローヌ氷河における過去  
100 年の流動速度変化  
西村大輔 (北海道大学環境科学院), 杉山  
慎 (北海道大学低温科学研究所), Andreas  
Bauder, Martin Funk (スイス連邦工科大  
学)
11. 地中レーダー (GPR) による積雪深観測法  
の改善  
木下陽介, 佐藤研吾, 高橋修平 (北見工業大学)
12. 知床半島における気象と海水の関係  
小杉知史, 高橋修平, 堀 彰 (北見工業大学)
13. アラスカにおける積雪縦断観測および衛星デー  
タを用いた新アルゴリズムでの積雪深比較  
佐々木孔明, 榎本浩之 (北見工業大学),  
Kim Yongwon (アラスカ大学), 館山一孝,  
谷川朋範 (北見工業大学), 門崎 学  
(JAXA), 齋藤佳彦 ((株)雪研スノーイー  
ターズ), 戸城 亮, 木村しづか (北見工業  
大学)

## Session III

(道路雪氷・森林雪氷): 14:30~16:00

座長: 中村一樹 ((財)日本気象協会)

14. 冬期路面のすべり抵抗値計測試験について  
舟橋 誠, 徳永ロベルト, 高橋尚人, 葛西  
聡 ((独)土木研究所寒地土木研究所)
15. すべり抵抗値を用いた冬期路面管理手法の  
高度化に関する研究  
徳永ロベルト, 舟橋 誠, 高橋尚人, 葛西  
聡 ((独)土木研究所寒地土木研究所), 林華  
奈子 (北海道開発局札幌開発建設部)
16. 平成 19 年度札幌市中心部の歩道の路面状況  
と冬期歩行者転倒事故  
川村文芳, 金田安弘 ((社)北海道開発技術セ  
ンター)
17. 凍土方式による大樹の移植—エジマザク  
ラおよびカシワの事例—  
斎藤新一郎 (環境林づくり研究所)
18. 風洞実験による防雪林の樹木形態と防雪効  
果の関係について その 3  
山田 毅, 伊東靖彦, 松澤 勝 (寒地土木研  
究所), 根本征樹, 小杉健二, 望月重人 (防災  
科学技術研究所), 齋藤佳彦 ((株)雪研ス  
ノーイーターズ)
19. しもぞらめ雪の固有透過度の測定  
荒川逸人 (野外科学(株)/新潟大学大学院自  
然科学研究科), 和泉 薫, 河島克久 (新潟  
大学災害復興科学センター), 河村俊行 (北  
海道大学低温科学研究所)

## Session IV

(雪崩・吹雪): 16:15~18:35

座長: 尾関俊浩 (北海道教育大学)

20. 2007 年 11 月に北海道上ホロカメットク山  
で発生した雪崩の調査報告  
尾関俊浩 (北海道教育大学教育学部札幌  
校), 八久保晶弘 (北見工業大学未利用エネ  
ルギー研究センター), 岩花 剛 (北海道大  
学大学院工学研究科寒地防災工学講座),  
樋口和生 (NPO 法人北海道山岳活動サポー  
ト), 大西人史 (北海道立林産試験場), 佐々  
木大輔 ((株)ノマド)
21. 気象データを用いた雪崩発生分析  
中村一樹 ((財)日本気象協会), 秋田谷英次  
(NPO 法人雪氷ネットワーク・北の生活館)

22. MPS 法によるピンポン玉雪崩実験の再現計算  
大塚達也, 清水康行 (北海道大学大学院工学  
研究科), 大槻政哉, 齋藤佳彦 ((株)雪研ス  
ノーイーターズ)
23. 新雪剪断強度の時間変化について  
松下拓樹, 松澤 勝, 伊東靖彦, 加治屋安彦  
((独)土木研究所寒地土木研究所)
24. 2008 年冬期北海道を通過した爆弾低気圧と  
交通障害, 及び視程の推定  
滝谷克幸, 谷口 恭, 岡村智明, 松岡直基  
((財)日本気象協会)
25. 2008 年冬期に北海道で発生した吹雪災害の  
状況と課題について (1) ~2008 年 2 月・長  
沼近郊での事例について~  
武知洋太, 伊東靖彦, 松下拓樹, 山田 毅,  
松澤 勝, 加治屋安彦 ((独)土木研究所寒地  
土木研究所)
26. 2008 年冬期に北海道で発生した吹雪災害の  
状況と課題について (2) ~2008 年 4 月・釧  
路根室地方での事例について~  
伊東靖彦, 武知洋太, 松下拓樹, 山田 毅,  
松澤 勝, 加治屋安彦 ((独)土木研究所寒地  
土木研究所)
27. プローブ車を用いた吹雪による視程障害の  
検知可能性

松澤 勝, 加治屋安彦 ((独)土木研究所寒地  
土木研究所雪氷チーム), 西田尚司 (富士重  
工業), 永田泰浩 ((財)日本気象協会)

28. 吹雪による雪崩  
石本敬志, 小松麻美 ((財)日本気象協会)

#### 支部機関誌「北海道の雪氷」発刊のご案内

2008 年度北海道支部研究発表会での発表論文  
を掲載した「北海道の雪氷」第 27 号が今秋発刊さ  
れます。「北海道の雪氷」は昨年度より電子出版と  
なり, 支部会員以外の皆様でも北海道支部ホーム  
ページ上にて閲覧可能となっております。

([http://www.seppyo.org/~hokkaido/journal/  
journal.html](http://www.seppyo.org/~hokkaido/journal/journal.html))

また, 冊子体をご希望の方には有料で配布いた  
します, 以下にご連絡下さい。

「北海道の雪氷」第 27 号の申込先:

(社)日本雪氷学会北海道支部

幹事長 石井吉之 (北海道大学低温科学研究所)

Tel: 011-706-5583 Fax: 011-706-7142

E-mail: nsdkanji@lowtem.hokudai.ac.jp

(野外科学株式会社 荒川逸人)

(2008 年 6 月 25 日受付)